

# MICRO CADAM Helix Webセミナー

## メニュー・バー操作解説 [カスタマイズ] 編 Part1

株式会社CAD SOLUTIONS  
営業本部

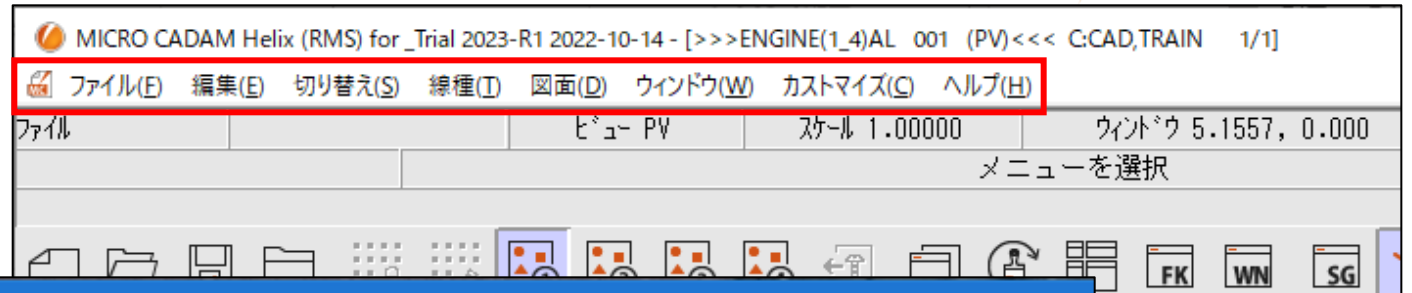
はじめに

---

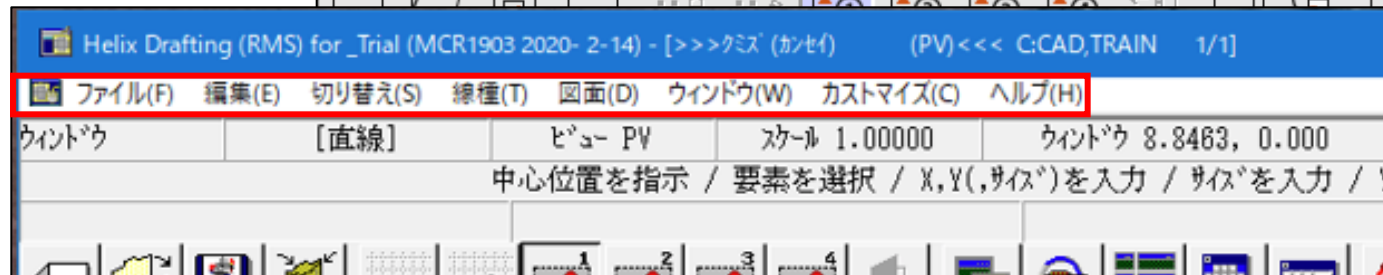
- メニュー・バーとは、ファンクション/メニューの機能を補完するためにMC V3以降に追加されたツールセットで、これまでに多くの機能拡張を行ってきました。

## バージョン別のメニュー・バー表示

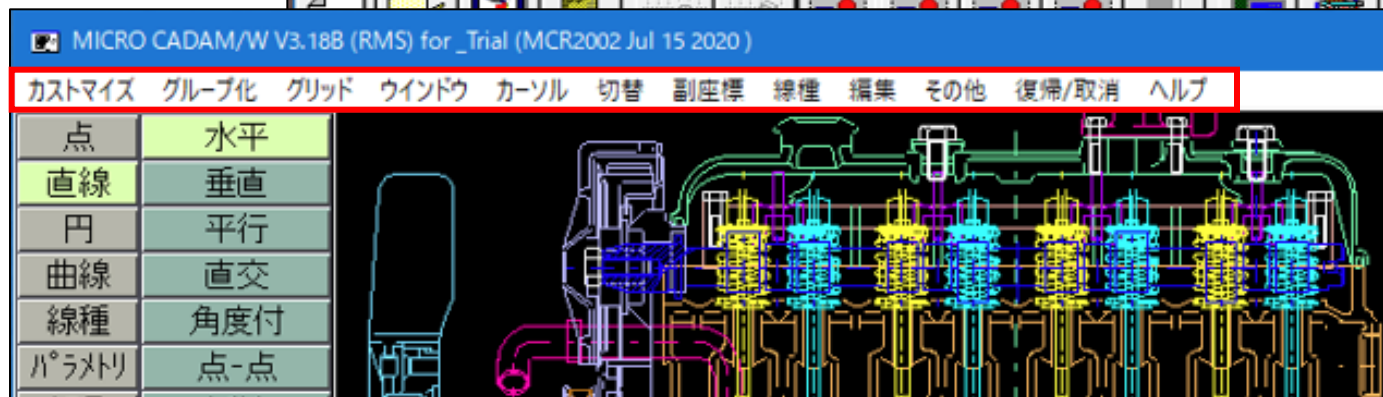
MC Helix 20xx



MC Helix V4



MC V3





新規作成(S)  
 呼び出し(A)...  
 上書き保存(V) / DXFファイルの上書き(Y) ★  
 名前を付けて保存(E)... / DXFファイルの別名保存(E)... ★  
 すべて保存(L)  
 閉じる(C)  
 すべて閉じる(O)  
 カプセル化図面呼び出し(P)...  
 画面印刷(E)  
 印刷の設定(T)...  
 印刷(I)  
 簡易出力(Y)...  
 PDF形式で保存(B) ★  
 DXF形式変換(M) ▶ MC->DXF変換(L) ★  
 DXF->MC変換(N)  
 ログオフ(G)  
 終了(X)

★印の付いた機能を使用するには、ライセンスが必要です。

図形複写(ビットマップ)(B) ▶ クリップボード(カラー)(C)...  
 クリップボード(モノ)(L)...  
 ファイル(カラー)(F)...  
 ファイル(モノ)(M)...  
 図形複写(メタファイル)(M) ▶ クリップボード(カラー)(C)...  
 クリップボード(モノ)(L)...  
 ファイル(カラー)(F)...  
 ファイル(モノ)(M)...  
 注記貼り付け(N)  
 元に戻す(D)  
 やり直す(R)  
 テキストを元に戻す(U) Ctrl+Z  
 切り取り(T) Ctrl+X  
 コピー(C) Ctrl+C  
 貼り付け(P) Ctrl+V  
 削除(E) 削除  
 文字列の検索(S)...  
 図形の検索(A)...  
 ハイパーリンク(H)...  
 オブジェクト(O)...  
 リンク(L)...

グリッド・ロック(G)  
 グリッド表示(S)  
 グループ1組(1)...  
 グループ2組(2)...  
 グループ3組(3)...  
 グループ4組(4)...  
 部品(E) ▶ 階層(T)...  
 トップ(T)...  
 親(U)  
 子(D)  
 前(P)  
 解除(E)  
 解除確認(C)  
 子図(D)...  
 ビュー(V)  
 非現行ビュー色(N) ▶ 設定(S)  
 解除(C)  
 オーバーレイ(O)  
 副座標(B)...  
 レイヤー(Y)...  
 オーバーレイ・レイヤー(L)  
 グローバル変形(B)  
 文字コード(C) ▶ 自動(A)...  
 日本語(J)...  
 中国語(C)  
 台湾語(T)  
 韓国語(K)  
 ラテン文字1(L)  
 ラテン文字2(2)  
 キリル文字(Y)

線種1(1)...  
 線種2(2)...  
 ペン(P)...  
 カラー(C)...  
 無指定色(D)  
 システム・カラー(S)...  
 線幅(W)...  
 線幅解除(O)  
 継承モード(M)...



- ウィンドウ複写(W)
- 子図ウィンドウを開じる(O)
- 状態保存(S)
- 状態復元(L)
- 自動状態保存(U)
- 再表示(P)
- 図面の再表示(D)
- 全図面の再表示(A)
- 重複表示(S)
- 重複要素の確認(O)
- 表示範囲の変更(R)...
- 拡大表示(Z)...

- タイル・キープ表示(K)
- タイル表示(T)
- カスケード表示(O)
- アイコン整列(A)
- 標準サイズ(O)
- ファンクション・ボックス(F)...
- スマートガイド・ボックス(S)...
- 〈ウィンドウ〉ボックス(W)...
- メッセージ・ボックス(M)...
- レイヤー・ボックス(L)...
- 変数ボックス(V)...
- 線種ボックス(Y)...
- 1 >>>
- .
- ・ (図面ウィンドウのリスト)
- .
- 9

- カーソル(C)
  - ▶ 十字(C)
  - ▶ 全画面(F)
  - ▶ 小十字(S)
  - ▶ 矢印(A)
  - ▶ 小四角(Q)
  - ▶ プラットフォーム(P)
- マウス(M)...
- キーボード(K)...
- 図面選択(W)
  - ▶ シングルクリック(S)
  - ▶ ダブルクリック(D)
- スマートガイド(G)
- スマートハイライト(H)
- スマートストレッチ(S)
- スマートアシスト(A)
- スマートメニュー(P)
- ラバーバンド表示(B)
- 座標値表示(O)
- 配置子図要素選択(I)
- ファンクション(F)...
- メニュー(N)...
- メッセージ(E)...
- 図面ウィンドウ(D)...
- New Look(J)...
- 文字入力方法(T)
  - ▶ 間接入力(T)
  - ▶ 同時入力(D)
  - ▶ 直接入力(O)
  - ▶ 入力域(K)
- 環境設定再読み込み(L)
- 環境設定ファイル(S)...
- ユーザーボタン定義(B)...
- イベントスタック(V)
  - ▶ 実行(E)...
  - ▶ 直ちに実行(X)
  - ▶ 記録(R)...
- VBコード作成(X)

- オンライン・ヘルプ(O)...
- チュートリアル(T)...
- ヘルプ・ボックス(B)...
- ログ収集(S)...
- 起動状況(I)...
- バージョン情報(A)...

今回解説する範囲

## メニュー・バー [カスタマイズ] 編 Part1 解説

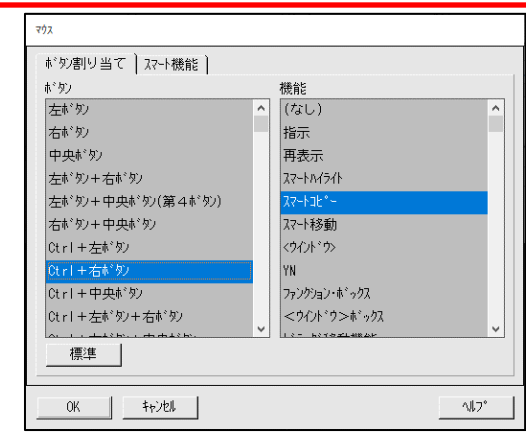
---

①

メインメニュー	サブメニュー	解説
カーソル(C)	十字(C)	マウス・ポインターの形状を十字で表示します
	全画面(F)	マウス・ポインターの形状を全画面の十字で表示します
	小十字(S)	マウス・ポインターの形状を小さい十字で表示します
	矢印(A)	マウス・ポインターの形状を矢印で表示します
	小四角(Q)	マウス・ポインターの形状を小さい四角で表示します
	プラットフォーム(P)	マウス・ポインターの形状をWindows OSであらかじめ用意されている任意の形状で表示します

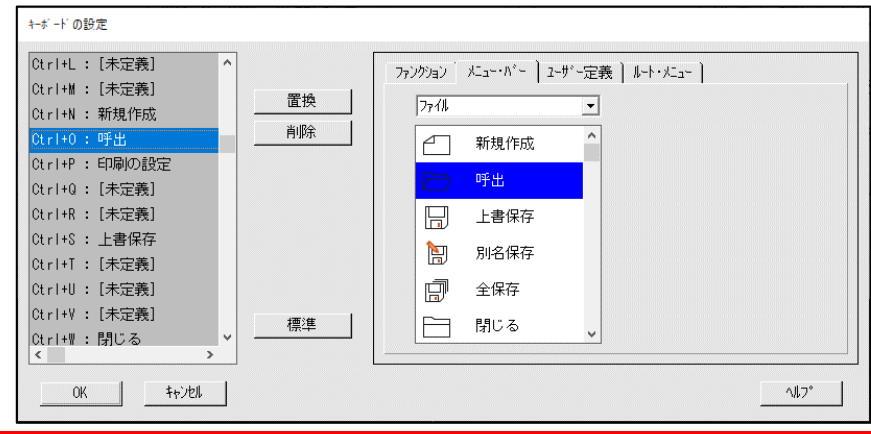
②


マウス(M)...		マウスのボタンに割り当てられる機能を変更できます
-----------	--	--------------------------

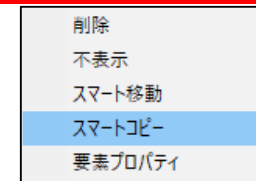
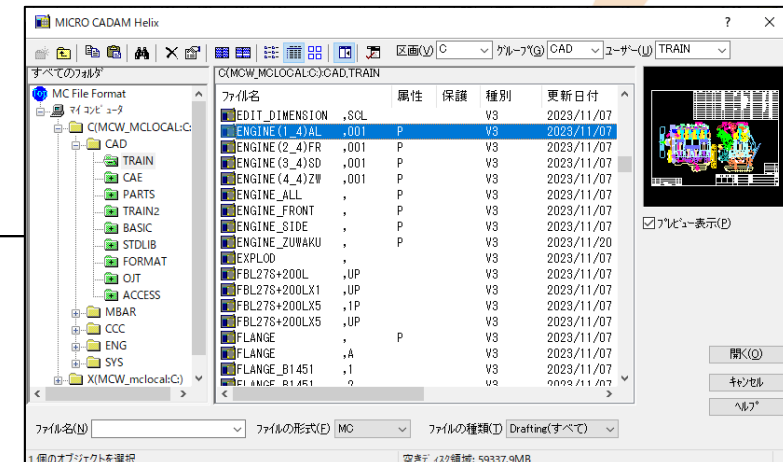


③


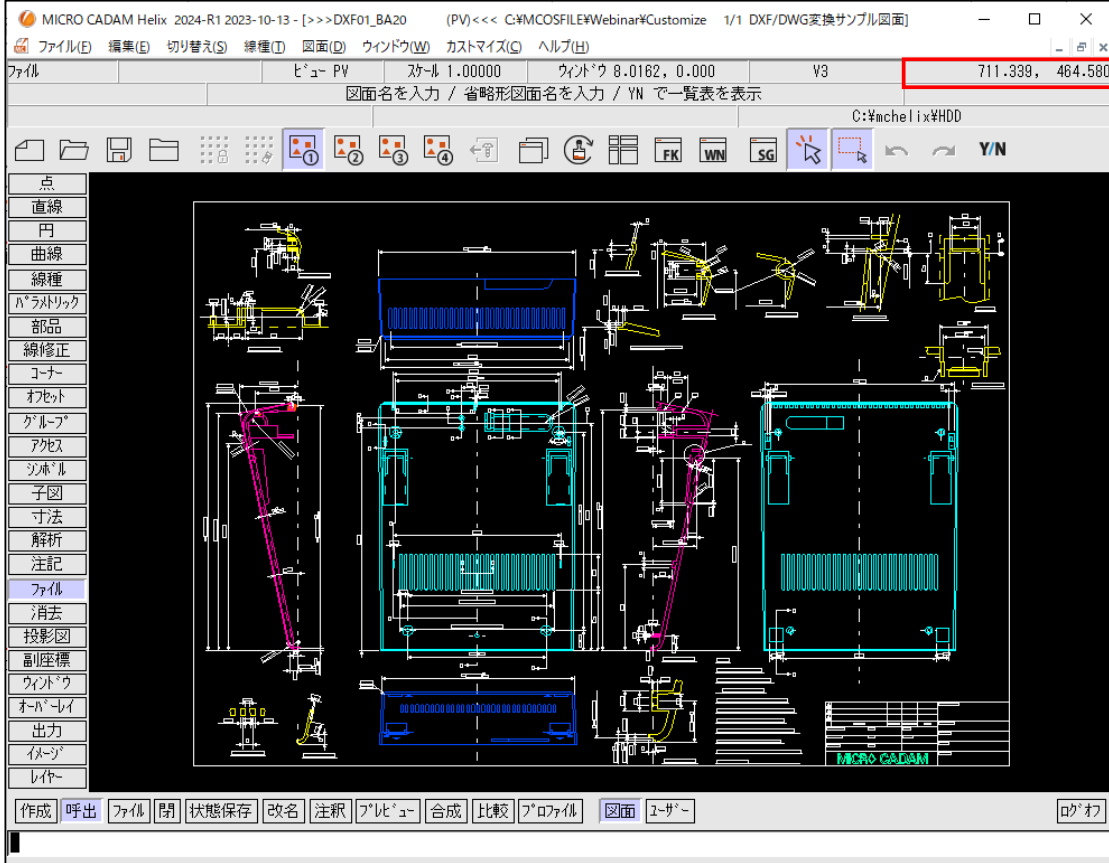
キーボード(K)...		キーボードにさまざまなショートカット・キーを割り当てることができます
-------------	--	------------------------------------



メインメニュー	サブメニュー	解説
図面選択(W)	シングルクリック(S)	Helix エクスプローラーで図面を呼び出す際、マウスのシングル・クリックで図面を選択して呼び出し、Helixエクスプローラーを閉じます
	ダブルクリック(D)	Helix エクスプローラーで図面を呼び出す際、マウスのダブル・クリックで図面を選択して呼び出し、Helixエクスプローラーを閉じます
④ スマートガイド(G)		スマートガイド=ONにより、下記の機能が有効になります <ul style="list-style-type: none"> <li>●スマートサーチ：要素が込み入った場所で選択する要素を順次変更できる</li> <li>●スマートセレクト：要素と要素の交点などを自動で認識することができる</li> <li>●スマートゲット：要素が持つ特性値を文字入力域に表示して取り込むことができる</li> </ul>
⑤ スマートハイライト(H)		スマートハイライト=ONにより、選択したい要素を一時強調色で表示できます (ツール・バー  と同じ機能です)
⑥ スマートストレッチ(S)		スマートストレッチ=ONにより、スマートセレクト機能で検出された定義点をマウスでドラッグ移動し、対象要素を伸縮表示できます
⑦ スマートアシスト(A)		スマートアシスト=ONにより、作図時の位置指定をガイド表示して作図操作を補助します
⑧ スマートメニュー(P)		スマートメニュー=ONにより、領域指定により選択した複数の要素を対象に、削除/不表示/スマート移動/スマートコピー/要素プロパティの5つの機能をポップアップで表示して一括で処理することができます

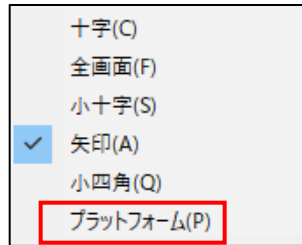




メインメニュー	サブメニュー	解説
ラバーバンド表示(R)		ラバーバンド表示=ONにより、ラバーバンディングおよびドラッグの機能を有効にします (ツール・バー  と同じ機能です)
座標値表示(Q)		<p>座標値表示=ONにより、スマートガイドのIND位置の座標値を画面右上のメッセージ領域に表示します</p> 


## メニュー解説①：カーソル

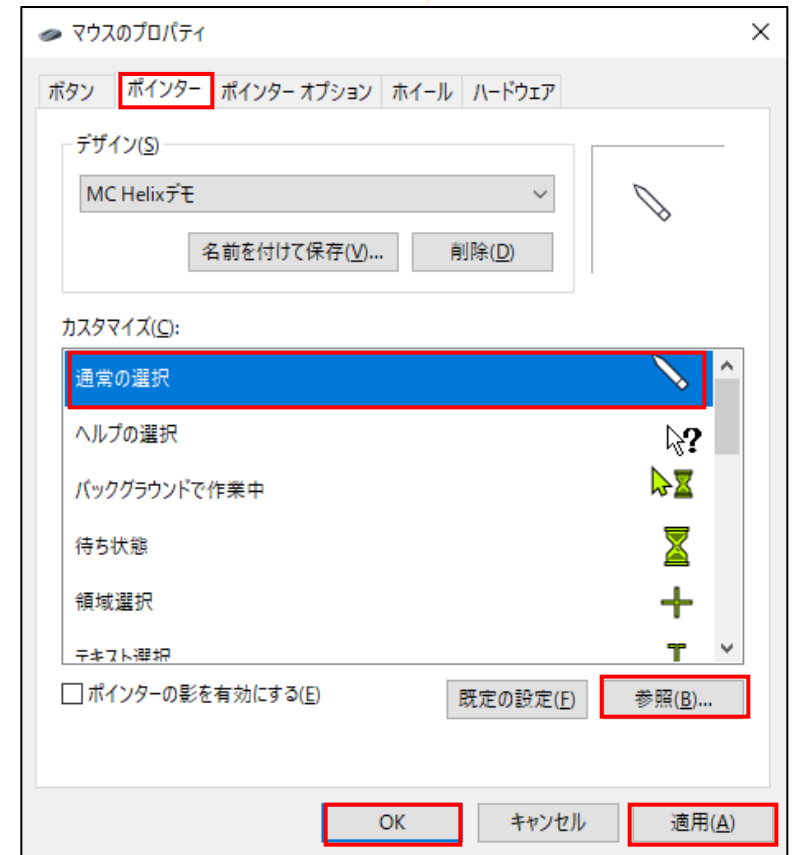
- マウス・ポインターを下記の形状から選択できます。



- プラットフォーム（上記の赤枠内）は、ご利用PCのWindows OSであらかじめ用意されている形状の中から、任意のマウス・ポインターを選択することができます。

### ➤ Windows 10での設定例

1. Windows OSの [設定  ]
2. [デバイス]
3. [マウス]
3. [その他のマウスオプション] → 「マウスのプロパティ」表示
4. [ポインター]
5. [通常的選擇] → 「参照」
6. 任意のポインターを選択 → [開く]
7. [適用] → [OK]



## メニュー解説②：マウス

### ● ボタン割り当て

➤ 3ボタンマウスにいろいろな機能を設定できます。

✓ マウスの基本設定

- 左ボタン： 選択 (SEL)
- 右ボタン： 指示 (IND)
- 中央ボタン： YN

✓ 便利機能のカスタマイズ例

- Shiftキー+左ボタン： スマートコピー
- Shiftキー+右ボタン： スマート移動
- Shiftキー+中央ボタン： 要素プロパティ

スマートコピー、要素プロパティ、スマート移動については動画で解説します。

### ● スマート機能

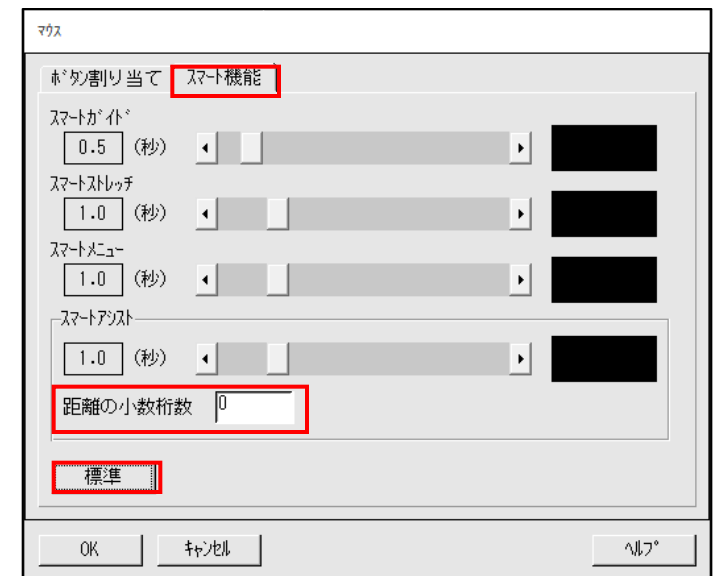
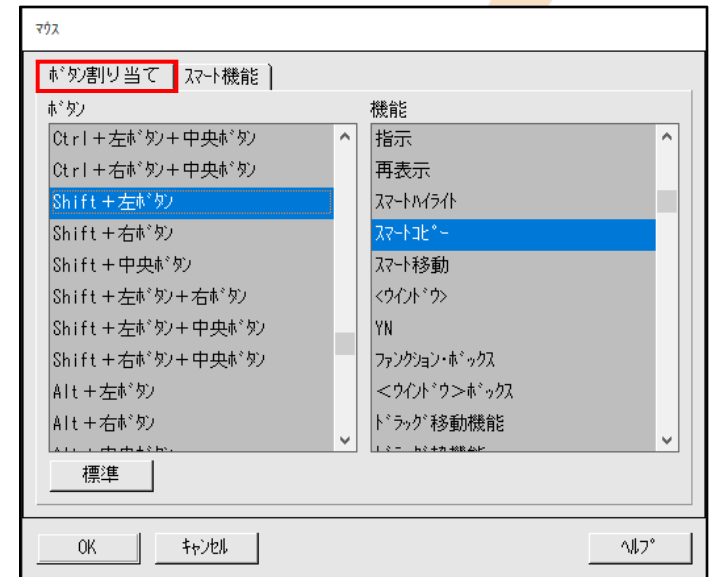
➤ 後述するスマートガイド、スマートストレッチ、スマートメニュー、スマートアシスト各機能が作動するまでの反応速度を指定できます。

✓ 距離の小数桁

- スマートアシストで、指定した位置からカーソルの位置までの距離をガイドするときの小数桁数 (0~5桁) を指定できます。

✓ 標準

- 変更した設定を標準値に戻します (右図は標準値です)。



## メニュー解説③：キーボード (1/2)

- キーボードの複数キーの組み合わせに、ファンクションやメニューなどの機能を割り当てることができます。

### ➤ ファンクション

- ✓ ファンクション単位で切り替え

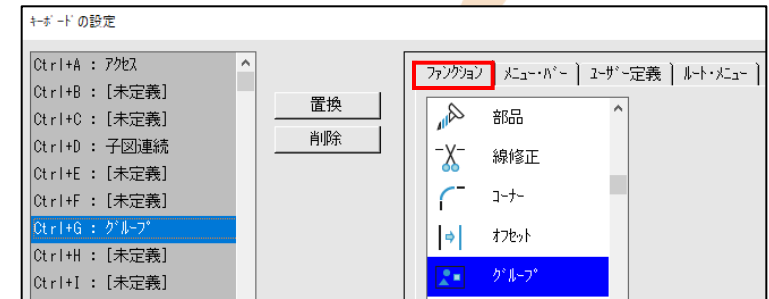
(例) [Ctrl+G:グループ] の場合、どのファンクションを選択していてもFK<グループ>に移動します。

### ➤ メニュー・バー

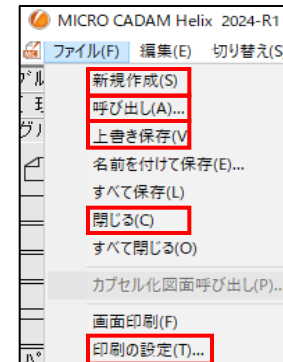
- ✓ メニュー・バーの機能を割り当て  
(標準設定)

- Ctrl+N : メニュー・バー [ファイル] → [新規作成]
- Ctrl+O : メニュー・バー [ファイル] → [呼び出し]
- Ctrl+P : メニュー・バー [ファイル] → [印刷の設定]
- Ctrl+S : メニュー・バー [ファイル] → [上書き保存]
- Ctrl+W : メニュー・バー [ファイル] → [閉じる]

(例) Ctrl+GにFK<グループ>を設定



メニュー・バー [ファイル]



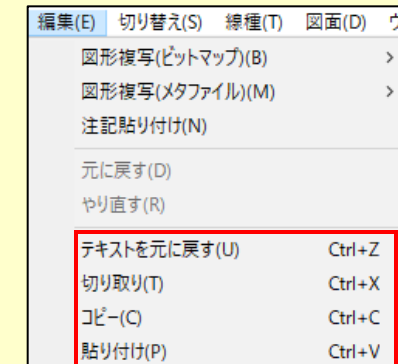
(標準設定) Ctrl+N:新規作成



[キーボードの設定] の中では「未定義」で表示されていますが、下記の機能があらかじめ割り当てられています (右図参照)。ただし、ユーザー定義すると、ユーザー定義が優先されます。

- Ctrl+Z : メニュー・バー 【編集】 → 【テキストを元に戻す】
- Ctrl+X : メニュー・バー 【編集】 → 【切り取り】
- Ctrl+C : メニュー・バー 【編集】 → 【コピー】
- Ctrl+V : メニュー・バー 【編集】 → 【貼り付け】

メニュー・バー [編集]



## ユーザー定義

- ✓ ユーザーボタン定義ファイルをキーボードに割り当てる
  - メニュー・バー [カスタマイズ] のイベントスタック機能で作成したユーザーボタン定義ファイルをキーボードのショートカット・キーに割り当てます。

イベントスタックは、繰り返し行う操作など、一連の操作手順をマクロとしてユーザーボタン定義ファイル (拡張子: ~.BIN) に記録する機能です。ユーザーボタン定義ファイルに記録した操作は、アイコン化してツール・バーに配置し、ワンクリックで実行できます。また、キーボードのショートカット・キーに割り当てることも可能です。

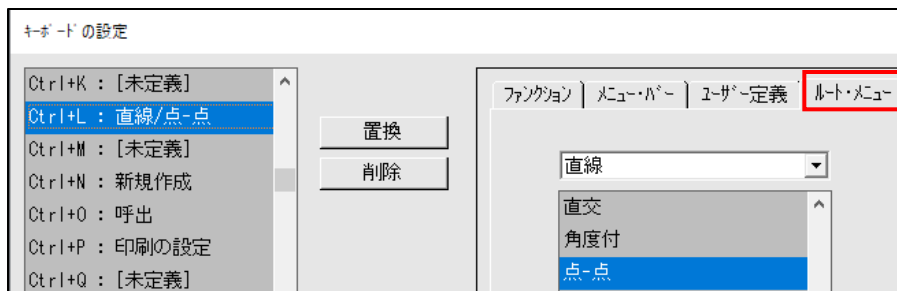
(例)  
Ctrl+Dに「子図連続」  
作成機能を設定



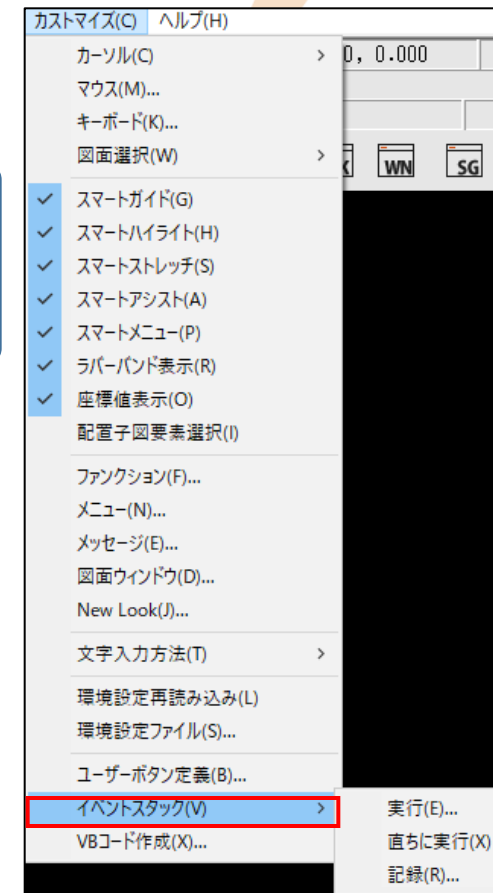
## ルート・メニュー

- ✓ 各機能の特定のメニューをキーボードに割り当てる  
(設定例) [Ctrl+L : 直線/点-点] の場合、どの機能を選択していてもFK<直線>【点-点】に移動します。

(例)  
Ctrl+Lに「直線/点-点」  
を設定



## メニュー・バー [カスタマイズ]

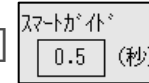


## メニュー解説④：スマートガイド（1/4）

- マウス操作によって図形要素が持つ情報を表示する機能です。要素上または指定の位置までカーソルを移動してマウスのボタンを押し続けるとスマートガイド表示になります。

### ▶ 動作環境

- ✓ 前提となる設定：スマートガイド=ON
- ✓ 動作速度設定：メニュー・バー [カスタマイズ] → [マウス] → [スマート機能]



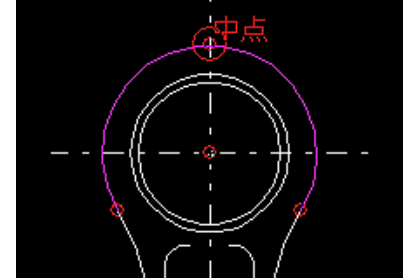
- ▶ スマートガイドによって要素選択した後、スマートサーチ、スマートセレクト、スマートゲットの機能を利用できます。

これらの機能はメニュー・バー [ウィンドウ] → [スマートガイド・ボックス] でも提供されています（右図参照）。

### 【1】スマートサーチ 最大50要素まで探索できます。

- ▶ 要素が重複しているとき、または要素が込み入っていて間違っ要素を選択したときに、付近にある要素を探索し、選択する要素を順次変更できる機能です。
- ▶ 操作例：円弧選択の場合
  1. 円弧を選択してスマートガイド表示し、左ボタンを押し下げたまま右ボタンをクリック  
⇒メニューが表示される
  2. [次要素]を選択 (SEL)  
⇒カーソルに近い順に一時強調色で表示される（キーボードの「3」も同じ）
  3. [前要素]を選択 (SEL)  
⇒一つ前の要素が一時強調色に表示される（キーボードの「2」も同じ）
  4. 右ボタンを離し、その後左ボタンを離す  
⇒その時点で一時強調色で表示されていた要素の選択が確定する

(例) 円弧要素の両端点と中点が認識されている状態



### スマートガイド・ボックス



## 【2】スマートセレクト

- 要素の定義点や他の要素との交点など、図面上に存在しない点を指定できる機能です。
- 操作例：FK<円>【円】で仮想上の点を指定して作成する場合
  1. 上方の円のY軸の中心線をスマートガイドを表示し、左ボタンを押し下げたままカーソルを下方の円のX軸上に移動する
  2. X軸の中心線がスマートガイド表示されると同時に交点が表示され、左ボタンを離す
  3. 半径値を入力すると、仮想上の上下の円の交点に円が作成される
- 対象となる要素と指定できる点

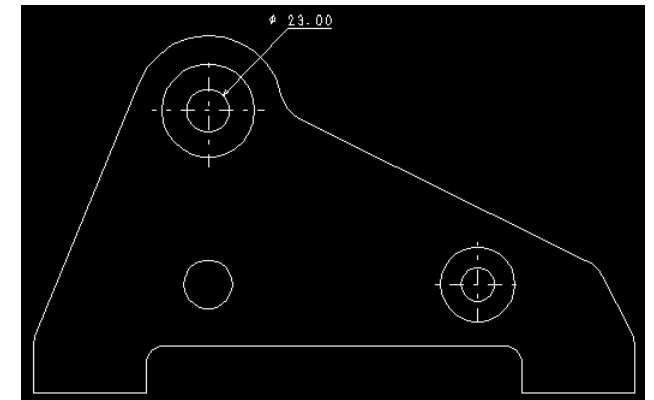
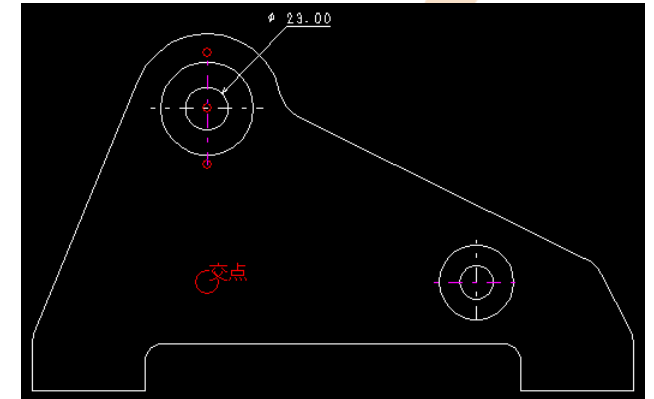
要素	指定できる点
点 <sup>注1)</sup>	交点
直線	端点、中点、交点
マルチライン	端点、中点、構成点 <sup>注2)</sup> 、交点
スケッチ <sup>注3)</sup>	端点、中点、中心点、構成点 <sup>注2)</sup> 、交点
円	端点、中点、中心点、交点
楕円	端点、中心点、交点
スプライン	端点、構成点 <sup>注2)</sup> 、交点
オフセット・スプライン	端点、交点
円錐曲線	端点、構成点 <sup>注2)</sup> 、交点
折れ線スプライン	端点、構成点 <sup>注2)</sup> 、交点
ユーザー・シンボル	基準点、または構成要素の端点、中点、中心点、構成点 <sup>注2)</sup>
システム・シンボル	基準点 <sup>注4)</sup>
配置子図	基準点、または構成要素の端点、中点、中心点、構成点 <sup>注2)</sup>
注記	基準点
座標軸	基準点

注1) 点から対象の要素に垂直に下ろした直線と、対象の要素との交点が表示されます。2要素とも点を指定した場合、中点が交点として表示されます。

注2) 構成点とは、端点、中点、および中心点を除く定義点です。

注3) スケッチは、各セグメントを個々の要素として扱います。

注4) 矩形の場合は、「構成点」が指定できます。



## 【3】スマートゲット

### ➤ 要素の特性値を利用する場合

- ✓ キーボードから数値入力可能な場合、要素の特性値を表示して利用できる機能です。
- ✓ 操作例：FK<直線>【水平】【◎有限】で円弧長の直線を描く場合
  1. 作成する平行直線の左側の端点位置を指示（IND）する
  2. スマートガイド機能が表示された状態で右ボタンを押してメニューを表示する
  3. 長さ情報の上で右ボタンを押す
  4. 左ボタンを離す⇒長さ情報が取得される
  5. 「Enter」
  6. 方向を指示⇒水平線が作成される



### ➤ 2要素間の相対値を利用する場合

- ✓ キーボードから数値入力可能な場合に、2つの要素間の相対関係の値を表示して利用できる機能です。
- ✓ 操作例：FK<注記>【記入】で円と円弧間の相対距離を測る場合
  1. 注記の記入位置を指示（IND）する
  2. 円弧上で左ボタンを押し下げたまま右側の円をハイライトさせる
  3. 円上で右ボタンを押してメニューを表示する
  4. 相対位置のメニュー上で右ボタンを押す
  5. 左ボタンを離す⇒相対距離が取得される
  6. 「書込」で数値が記入される





## ➤ 指定できる要素と利用できる特性値

要素	特性値
点 <sup>注1)</sup>	座標、3次元 <sup>注2)</sup>
直線	長さ、角度
マルチライン	長さ、セグメント数
スケッチ <sup>注3)</sup>	
直線セグメント	長さ、角度
円弧セグメント	半径、長さ、角度1、角度2
円（円弧）	半径、長さ、角度1、角度2
楕円（楕円弧）	長径、短径、長さ、回転角度、角度1、角度2
スプライン	長さ、構成点数
オフセット・スプライン	オフセット幅、長さ、構成点数
円錐曲線	長さ
折れ線スプライン	長さ、構成点数
シンボル <sup>注4)</sup>	
正三角形、十字、矢印	角度、長さ
小丸	半径
矩形	幅、高さ
ユーザー・シンボル <sup>注5)</sup>	角度、倍率
配置子図	角度、倍率、子図名、子図番号
注記	文字 <sup>注6)</sup> 、角度
座標軸	角度、倍率

注1) スマートセレクトの点を指定している場合、その点の特性値が指定できます。

注2) 点のデータは、XとYの2つのデータ、または、X、YとZの3つのデータが、コンマ（,）で区切って取り込まれます。

注3) スケッチは、各セグメントを個々の要素（直線および円弧）として扱います。

注4) 複数の要素で構成されている風船、デルタ記号などの場合、各要素の特性値が取り出されます。

注5) シンボル・フォントを含みます。

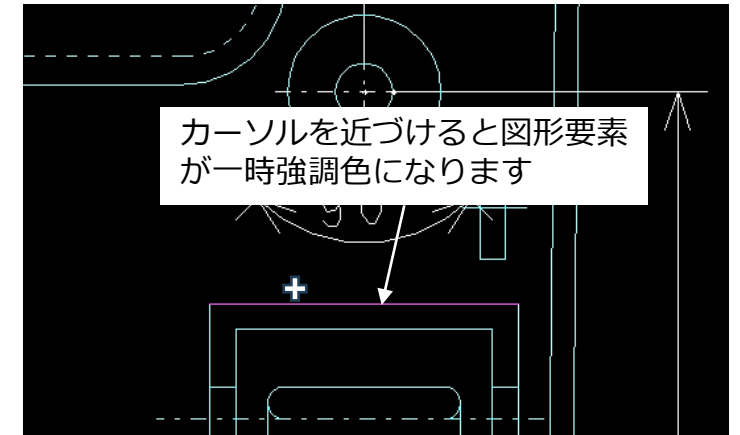
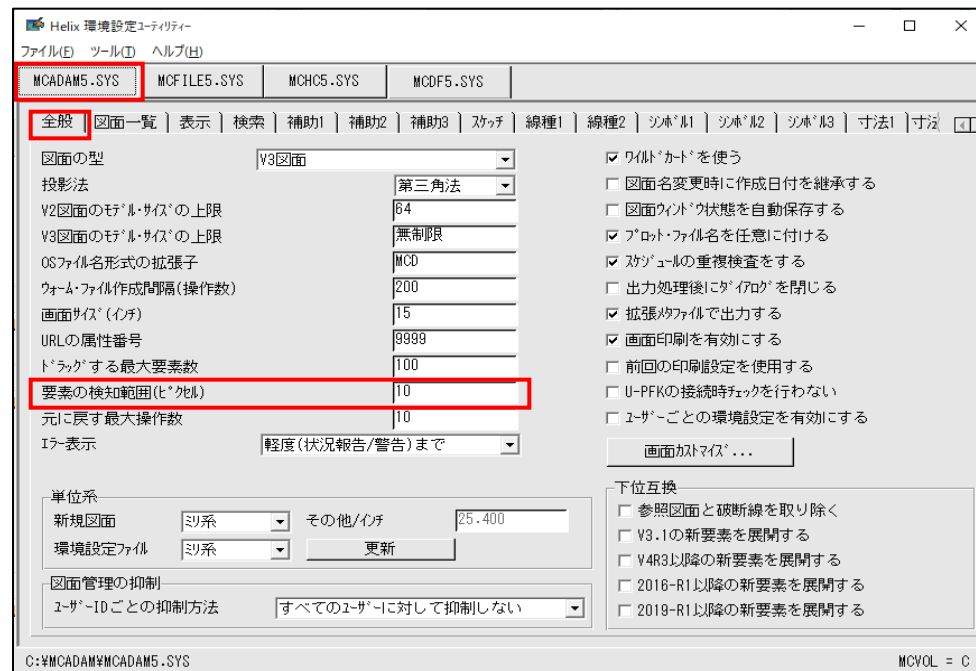
注6) 文字列は先頭から半角文字で20文字まで表示されます。

MICRO CADAM特殊文字およびユーザーが登録している外字は、省略した形で表示されます。

- マウスのカーソルを要素に近づけた際、選択対象になっている要素を一時強調色で表示する機能です。

## ➤ 動作環境

- ✓ 前提となる設定：スマートハイライト=ON
- ✓ 一時強調色表示させる図形要素の検知範囲：環境設定ファイル「MCADAM5.SYS」で設定
  - 環境設定ユーティリティを起動
  - 「MCADAM5.SYS」→ [全般] タブ→ [要素の検知範囲 (ピクセル) ]



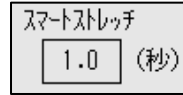
## メニュー解説⑥：スマートストレッチ（1/2）

- スマートストレッチは、指定した要素を伸縮させる機能です。対象要素上でマウスを押し続け、スマートセレクト機能で検出される定義点から伸縮の基準になる点を指定すると、スマートストレッチの機能が有効（スマートストレッチ・モード）になります。

### ▶ 動作環境

- ✓ 前提となる設定：スマートストレッチ=ON、スマートガイド=ON
- ✓ 動作速度設定：メニュー・バー [カスタマイズ]

→ [マウス] → [スマート機能]



- ✓ スマートストレッチの中止：[Esc] キー

- ▶ スマートストレッチ・モードになった後、以下の操作で対象要素を移動または伸縮できます。

- ✓ 移動先の点を指定してストレッチする

#### ■ 円の場合

- 円の中心点を指定： 円全体が移動可能になる [図1]
- 円の中心点/端点を指定： 同心円で変形する [図2]

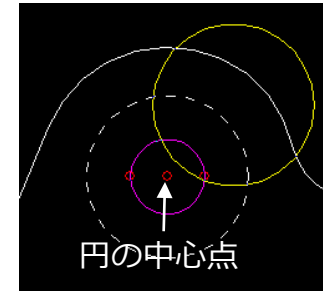
#### ■ 円弧の場合

- 円弧の中心点を指定： 円弧全体が移動可能になる [図3]
- 円弧の中心点： 端点が固定されたまま変形する [図4]
- 円弧の端点を指定： 中心点を維持したまま端点が移動する [図5]

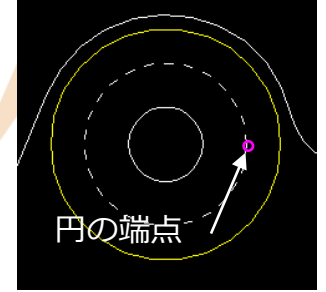
#### ■ 直線の場合

- 直線の中点を指定： 直線全体が移動可能になる [図6]
- 直線の端点を指定： 端点側で変形する [図7]

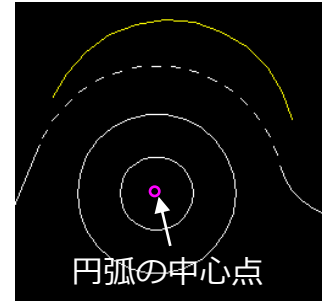
[図1]



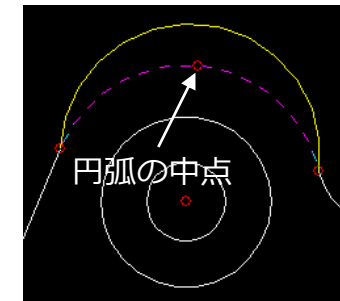
[図2]



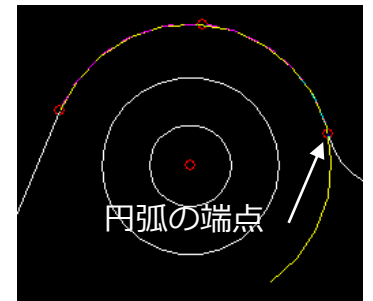
[図3]



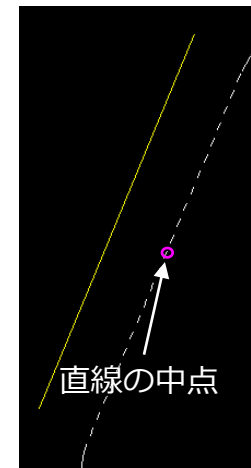
[図4]



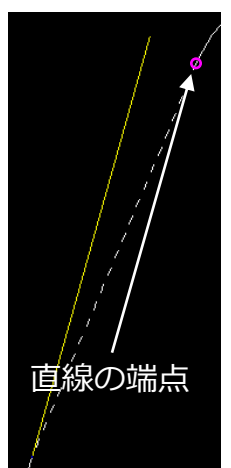
[図5]



[図6]



[図7]



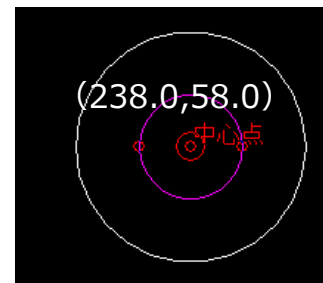
✓ 基準点からの移動量を指定してストレッチする

- 円/円弧の中心点や直線の中点の場合
  - 要素全体を移動できる [図8]
- 円/円弧の端点の場合
  - 円/円弧の径を数値で変更できる [図9]
- 二つの直線の交点の場合
  - 端点の移動量を数値で指定できる [図10]

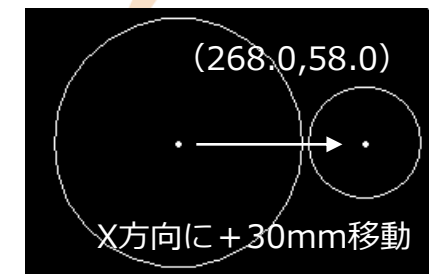
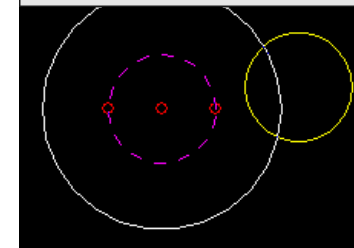
✓ 操作例

1. スマートガイド機能で基準となる定義点 (端点、中点、中心点など) を認識させ、スマートストレッチ・モードにする
2. 左ボタンを離す
3. 「Enter」
4. 「X,Y方向の移動量」ダイアログが表示される
5. X,Yの移動量を入力
6. 「OK」⇒形状が変形する

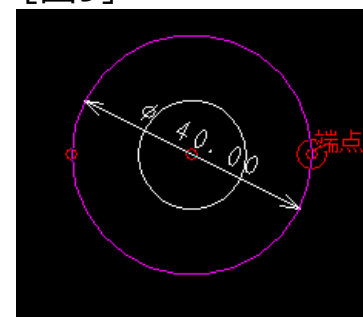
[図8]



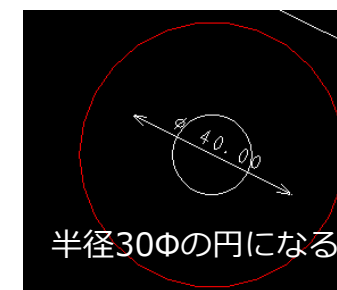
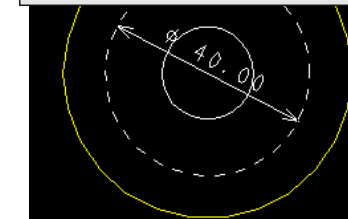
X,Y方向の移動量			
X	238.0000	Y	58.0000
DX	30.0	DY	0.0
OK キャンセル ヘルプ			



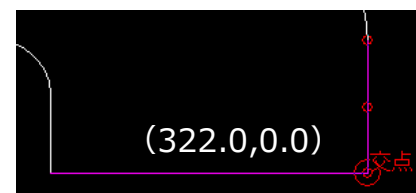
[図9]



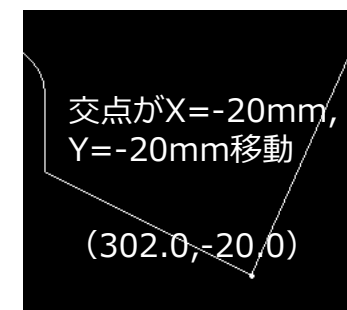
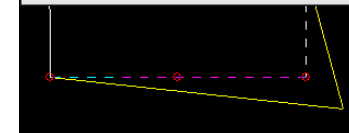
X,Y方向の移動量			
X	258.0000	Y	58.0000
DX	10.0	DY	0.0
OK キャンセル ヘルプ			



[図10]



X,Y方向の移動量			
X	322.0000	Y	0.0000
DX	-20.0	DY	-20.0
OK キャンセル ヘルプ			



## メニュー解説⑦：スマートアシスト（1/2）

- 作図時の位置指定をガイドを表示することによって、作図時の位置指定を補助する機能です。指定した位置からカーソルの位置までの距離と角度をガイド表示します。一時的に要素の構成点を登録し（アシスト点）、位置指定のために利用できます。

### ➤ 動作環境

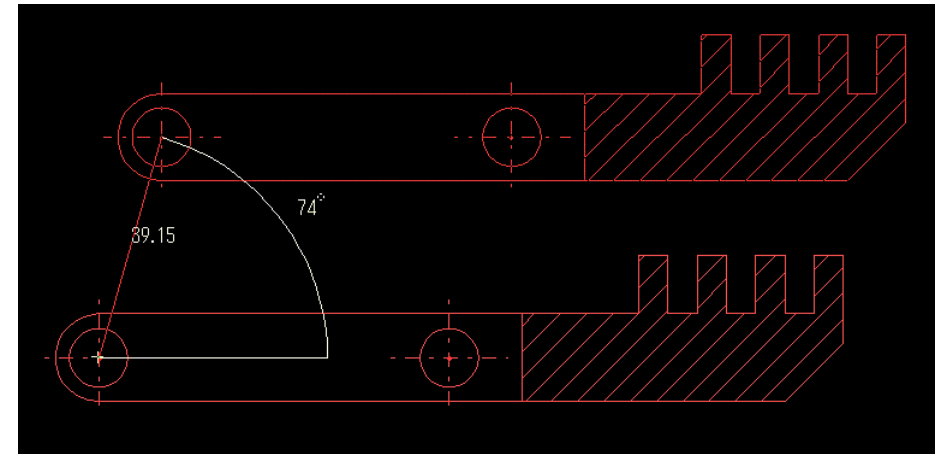
- ✓ 前提となる設定：スマートアシスト=ON、スマートハイライト=ON、ラバーバンド表示=ON
- ✓ 動作速度設定/数値の少数桁数：メニュー・バー [カスタマイズ] → [マウス] → [スマート機能]



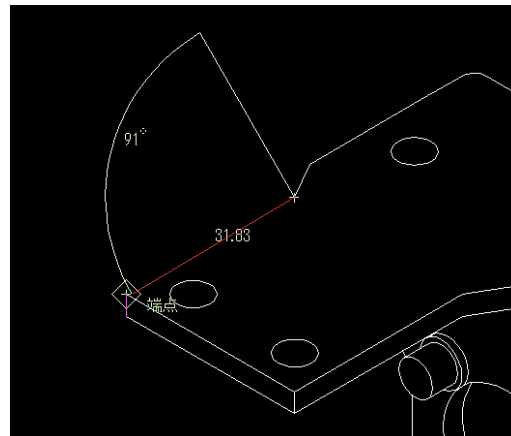
### ➤ 距離と角度のガイド

- ✓ 下記の操作で位置を指定する際、指定した位置からカーソルの位置までの距離と水平角度をガイドで表示できます。
  - <グループ> 【移動】
    - 角度と移動距離を表示 [図11]
  - <直線> 【点-点】
    - 角度と長さを表示 [図12]
  - <直線> 【折線】
  - <曲線> 【折線スプライン】
  - <スケッチ> 【作成】

【図11】



【図12】



スマートアシスト機能は、スマートガイド機能と異なり、マウスで選択していない要素の位置情報を利用できます。

## メニュー解説⑦：スマートアシスト（2/2）

- アシスト点を利用した作図が可能です。  
アシスト点は、位置を指定する補助となる点で、アシスト点を通る無限水平線・垂直線、またはアシスト点から延びる延長線のガイドが表示されます。

### ➤ 操作手順

- ✓ アシスト点のマークおよび文字が表示されている状態で指示（IND）すると、アシスト点の座標で位置が指定できます。

### ➤ アシスト点を登録できる要素とアシスト点の組み合わせ

要素	アシスト点の種類
点	中心点
直線	端点、中点
円（弧）、楕円（弧）	端点、中点、中心点
折れ線	端点（定義点）、各線分の中点
スプライン	端点（始点および終点）、中点
折れ線スプライン	端点（定義点）、各線分の中点
スケッチ（直線セグメント）	端点、中点
スケッチ（円弧セグメント）	端点、中点、中心点
システム・シンボル （正三角形、矩形、十字形、小丸、風船 <sup>注</sup> ）、デルタ記号 <sup>注</sup> 、矢視	基準点

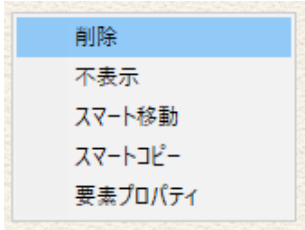
注）風船およびデルタ記号の矢印は個別に対象になります。

### アシスト点の種類とマーク（形状）

種類	マーク(形状)	例
端点	◇	
中点	◎	
中心点	⊕	
交点	×	
基準点	○	

## メニュー解説⑧：スマートメニュー

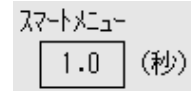
- 特定のメニューをポップアップで表示し、領域指定により選択した複数の要素を対象に一括で処理する機能です。スマートメニューとして利用できる機能は以下です。



スマート移動/スマートコピー/要素プロパティについては、P11の [マウス] の項でご説明した内容と同じです。

### ➤ 動作環境

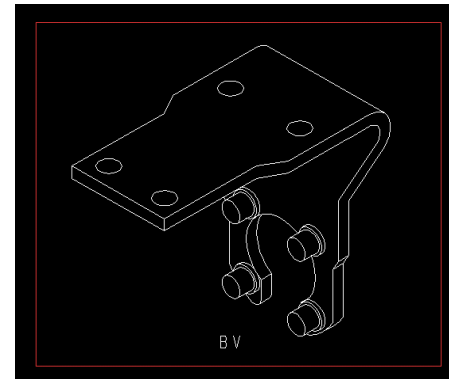
- ✓ 前提となる設定： スマートメニュー=ON
- ✓ 動作速度設定： メニュー・バー [カスタマイズ] → [マウス] → [スマート機能]



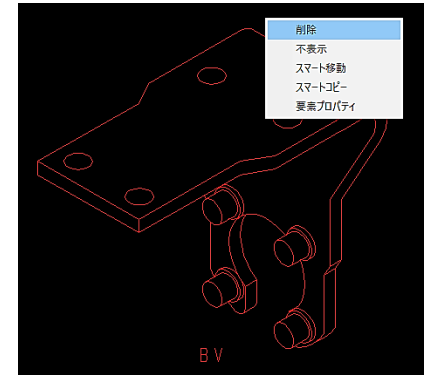
### ➤ 操作例：削除の場合

1. マウスの左ボタンを押し下げたまま、削除したい要素が矩形の範囲内に含まれるようにドラッグする [図13]  
(注) マウスを押し下げる位置は作画領域内の要素がない位置にする
2. 左ボタンを離す⇒矩形領域内の要素が強調表示される
3. 右ボタンをクリックする⇒ポップアップメニューが表示される
4. 左ボタンで「削除」を選択 (SEL) [図14]  
⇒強調表示された要素が削除される

[図13]

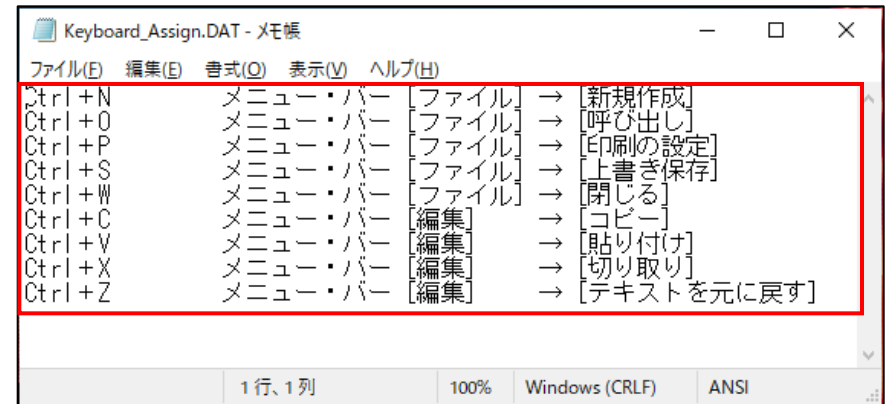
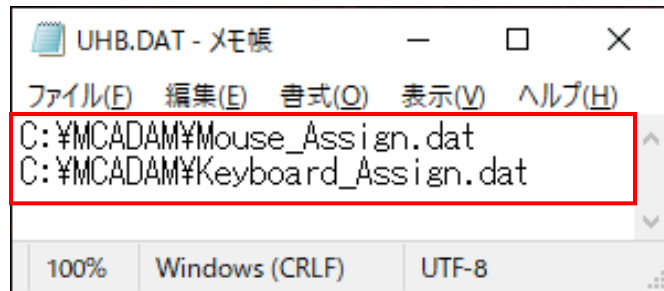
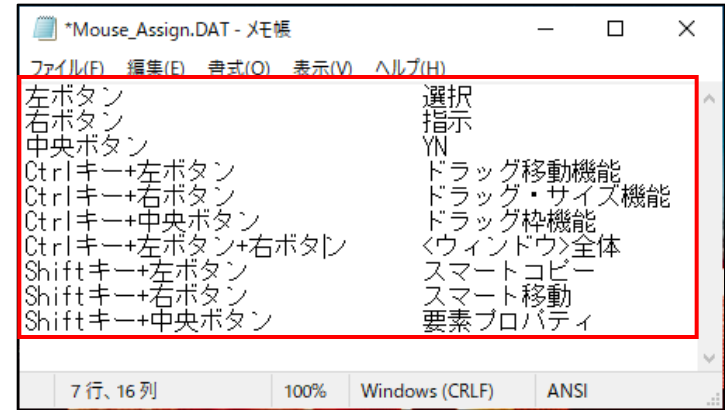


[図14]



## 参考 (1/2) : マウスやキーボードに割り付けた機能を一覧表示する方法

- ユーザー・ヘルプ・ボックス機能を利用してマウスやキーボードに割り付けた機能一覧を表示することができます。
- テキスト・ファイルの作成
  - マウスやキーボードに割り付けた内容を記述したテキスト・ファイル (~.DAT) 作成します。
  - 作成例 (右図参照)
    - ✓ マウス用 : Mouse\_Assign.DAT
    - ✓ キーボード用 : Keyboard\_Assign.DAT
  - 保存先 (システムドライブがCドライブの場合)
    - ✓ C:¥MCADAM
- ユーザー・ヘルプ・ボックスのインデックス・ファイルの編集
  - ファイル名 (システムドライブがCドライブの場合)
    - ✓ C:¥MCADAM¥UHB.DAT
  - 編集内容 (下図参照)



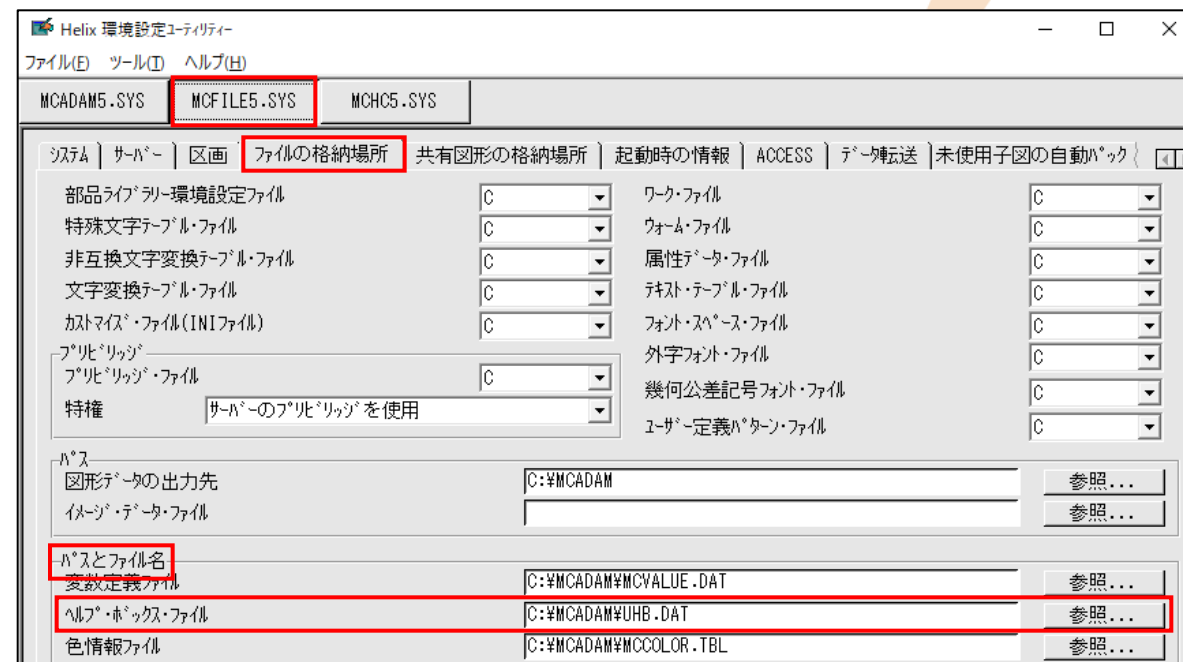


## ● 環境設定

### ➤ 環境設定ファイル (MCFILE5.SYS)

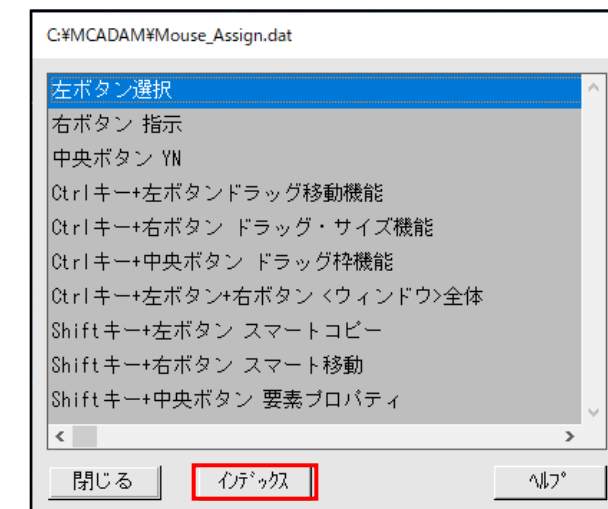
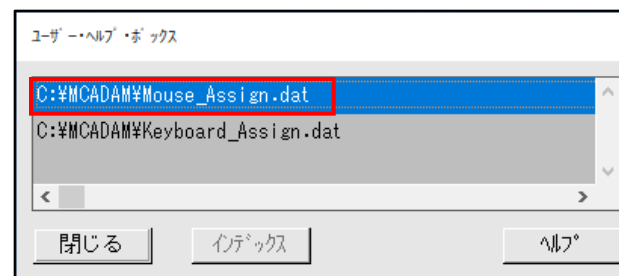
- ✓ 「ファイルの格納場所」 → 「パスとファイル名」 → 「ヘルプ・ボックス・ファイル」 に、デフォルトではインデックス・ファイル (UHB.DAT) のファイル・パスが記載されています。

デフォルトの保存先はC:¥MCADAMですが、[参照] でパスを指定すれば保存先を変更することができます。



## ● 操作例

- メニュー・バー [ヘルプ] → [ヘルプ・ボックス] ⇒ 「ユーザー・ヘルプ・ボックス」ダイアログが表示されます (右図参照)。
- “C:¥MCADAM¥Mouse\_Assign.dat” を選択 ⇒ 設定内容が表示される。
- [インデックス] を選択 ⇒ インデックスのページに戻る



# まとめ (1/2) : メニューバー [カスタマイズ] 編 Part1

詳細につきましては下記のコンテンツも合わせてご利用ください。

- 参照マニュアル：操作解説書

- Windows [スタート] → [MICRO CADAM Helix] → 「操作解説書」  
→メニュー・バーの使い方→メニューの概要  
→メニューの概要【カスタマイズ】

- 参照マニュアル：カスタマイズ・ガイド

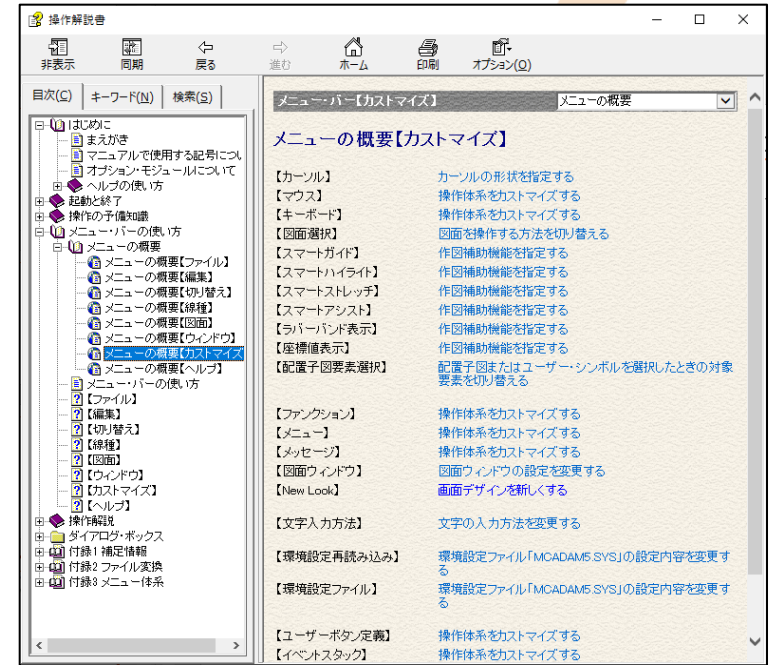
(マニュアルをダウンロードできます)

1. CAD'S SUPPORT DESKにログインする

<https://support.cad-solutions.co.jp/>

ログインには、事前にMCHS契約の管理者または副管理者の登録が必要です。

2. [ダウンロード] → [MICRO CADAM Helix製品] → [マニュアル] → 「オンライン・マニュアル 最新版」を選択
3. [オンライン・マニュアル 最新版] → 「Manual\_MCH\_2024-R2.zip」を選択
4. 「ダウンロード」フォルダ→zipファイルを展開する
5. ファイル名：MCCUSTOMIZE.PDFを開く（右図参照）



- はじめに
- 第1章 カスタマイズについて
- 第2章 マウス
- 第3章 キーボード・ショートカット
- 第4章 ファンクション
- 第5章 メニュー
- 第6章 メッセージ
- 第7章 ユーザー・ボタン定義
- 第8章 イベント・スタック

## ● おすすめ動画コンテンツ

<https://www.cad-solutions.co.jp/movie-index/#mctipshits>

### スマートガイド編

MICRO CADAM Helix でスマートガイド（スマートサーチ/スマートセレクト/スマートゲット）やスマートストレッチ、スマートコピーの機能を説明しているチュートリアル動画です。入り組んだ図面などで、操作対象となる要素を素早く選択したり、少ない手順で要素を移動・伸縮したりコピーする際に知っておくと便利な機能です。



スマートサーチを使ってみよう(4分32秒)



スマートセレクトを使ってみよう(4分36秒)



スマートゲットを使ってみよう(5分40秒)



スマートストレッチ機能(4分59秒)



スマートコピー機能(7分50秒)



MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。  
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。